

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年01月19日

計画の名称	安全・安心や環境に配慮した公園整備等の推進														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	神戸市														
計画の目標	グリーンインフラ事業として市内4つの水系地区において、雨水幹線への負荷軽減のための公園施設や緑地を整備すると共に、水と緑のネットワーク形成を推進する環境形成帯を整備する。 また、花と緑を活用した緑化・飾花により魅力あふれる都市空間の形成や、地域住民の交流・スポーツ・レクリエーションの拠点となる公園を整備し、コミュニティ形成の活性化を行う また、「六甲山森林整備戦略」に基づく六甲山等の緑地の保全・育成事業を進めることで、土砂災害等に対する街の防災性の向上を図る。 上位計画における位置づけ：「神戸市緑の基本計画」第7章.施策の展開 2.まちのゾーン 方針2- 街路樹による風格あるまちなみづくりや心地よい木陰の確保、3.田園のゾーン 方針9- 田園地域におけるコミュニティ 拠点の整備促進、4.ゾーンのつながり 方針10- 水と緑のネットワークの形成、第8章.緑の戦略プロジェクト 1.緑をまもり育て、未来へつなぐ「六甲山プロジェクト」														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		360	A	317	B	10	C	33	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		9.16	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（計画策定時点）	（R4末）	（R6末）
1	公園施設や緑地等の整備による雨水流出量を0.43立米/sからR6末までに0.34立米/sにする。			
	公園施設や緑地等の整備による雨水流出量	4立米/（s・10）	立米/（s・10）	3立米/（s・10）
2	表六甲水系地区において花と緑を活用した緑化・飾花により、魅力あふれる都市空間とすることで、歩行者交通量を10%（R6末）増加させる。			
	表六甲水系地区における緑化・飾花の整備箇所における歩行者交通量	0%	%	10%
3	加古川水系地区において地域住民の交流・スポーツレクリエーションの拠点となる公園を再整備し、再整備後の公園で開催された地域イベントの件数をR6末までに1件/年にする。			
	加古川水系地区における再整備後に開催された地域イベントの件数	0件/年	件/年	1件/年
4	明石川水系地区において地域住民の交流・スポーツレクリエーションの拠点となる公園を整備し、開園後の公園で開催された地域イベントの件数をR3末までに3件/年にする。			
	明石川水系地区における開園後に開催された地域イベントの件数	0件/年	件/年	3件/年
5	森林の保全・育成や緑地の良好な市民利用のためのハイキング道（散策路）の再整備を行い、再整備距離をR6末までに2,000mにする。			
	ハイキング道（散策路）の再整備距離	0m	1200m	2000m
6	武庫川水系地区において地域住民の交流・スポーツレクリエーションの拠点となる公園を整備し、開園後の公園で開催された地域イベントの件数をR6末までに2件/年にする。			
	武庫川水系地区における開園後に開催された地域イベントの件数	0件/年	件/年	2件/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	グリーンインフラ活用型 都市構築支援事業（表六 甲水系地区）	植栽帯再整備、施設整備等（ 生田町公園ほか）	神戸市						30		-
	A12-002	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	グリーンインフラ活用型 都市構築支援事業（加古 川水系地区）	植栽帯再整備、施設整備等（ 山田町公園ほか）	神戸市						81		-
	A12-003	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	グリーンインフラ活用型 都市構築支援事業（明石 川水系地区）	用地買い入れ、植栽帯再整備 、施設整備等（押部谷町公園 ほか）	神戸市						53		-
	A12-004	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	緑地保全等事業（六甲近 郊緑地保全区域）	緑地保全利用施設の整備（散 策路等）	神戸市						30		-
	A12-005	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	緑地保全等事業（西須磨 特別緑地保全地区）	特別緑地保全地区の用地取得	神戸市						40		-
	A12-006	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	緑地保全等事業（一里山 町特別緑地保全地区）	特別緑地保全地区の用地取得	神戸市						30		-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-007	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	グリーンインフラ活用型 都市構築支援事業（武庫 川水系地区）	植栽帯再整備、施設整備等（ 道場町公園）	神戸市						53		-
											小計						317		
											合計						317		

B 関連社会資本整備事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	B12-001	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	グリーンインフラ活用型 都市構築支援事業（加古 川水系地区・山田町公園 接続道路）	山田町公園へのアクセス道路 の整備	神戸市						10		-	
		基幹事業（A12-002）と一体的に整備することにより、事業の円滑な進捗と公園利用者の利便性が向上する。																		
												小計						10		
											合計						10			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	緑地保全等事業（六甲近郊緑地保全区域）	六甲近郊緑地保全区域の調査	神戸市						33		-
		緑地保全等事業（A12-003）の調査を行うことにより、森林の適切な保全や育成を図る。																	
											小計						33		
											合計						33		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
令和7年度 神戸市建設事業外部評価委員会	令和7年9月9日（第1回）、11月7日（第2回）
	公表の方法
	神戸市ホームページに記載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市内4つの水系地区において、公園施設や緑地を整備することで雨水幹線への負荷を軽減し、水と緑のネットワークを形成を推進する環境形成帯を整備することができた。 ・花と緑を活用した緑化・飾花により魅力あふれる都市空間の形成や、地域住民の交流・スポーツレクリエーションの拠点となる公園を整備し、コミュニティ形成の活性化を行うことができた。 ・老朽化したハイキング道を計画的に整備することにより、ハイキング道の安全性及び利便性を向上することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・花と緑を活用した緑化・飾花を行い、魅力あふれる都市空間とすることで、整備前と比較して歩行者交通量の増加に加え、歩いて楽しい空間を創出することができた。 ・地域住民の交流・スポーツレクリエーションの拠点となる公園を整備し、コミュニティ形成の活性化を行うことができた。 ・古くなった案内板を更新したことで、登山道をわかりやすく表示するとともに、景観にも配慮することができた。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンインフラについては、雨水貯留槽や透水性舗装の整備など、引き続き雨水流出の抑制に努めていく。 ・緑地保全等事業については、安全・安心に資する緑地の保全を進めるとともに、森林レクリエーションに資するハイキング道の再整備等を実施していく。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	公園施設や緑地等の整備による雨水流出量		
	最 終 目標値	3立米/(s・10)	目標を達成した
	最 終 実績値	3立米/(s・10)	
2	表六甲水系地区における緑化・飾花の整備箇所における歩行者交通量		
	最 終 目標値	10%	目標を達成した
	最 終 実績値	13%	
3	加古川水系地区における再整備後に開催された地域イベントの件数		
	最 終 目標値	1件/年	目標を達成した
	最 終 実績値	2件/年	
4	明石川水系地区における開園後に開催された地域イベントの件数		
	最 終 目標値	3件/年	コロナ禍のため、地域のイベントを行うことができなかった。
	最 終 実績値	0件/年	
5	ハイキング道（散策路）の再整備距離		
	最 終 目標値	2000m	目標を達成した
	最 終 実績値	2111m	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
6	武庫川水系地区における開園後に開催された地域イベントの件数		
	最 終 目標値	2件/年	目標を達成した
	最 終 実績値	14件/年	